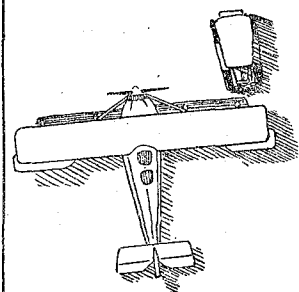


通信



米國管見〔第三報〕

藤田周造
田邊良忠

第三報を紐育雜觀としてお茶を濁さしてもらふこととする。

○「世界」の事

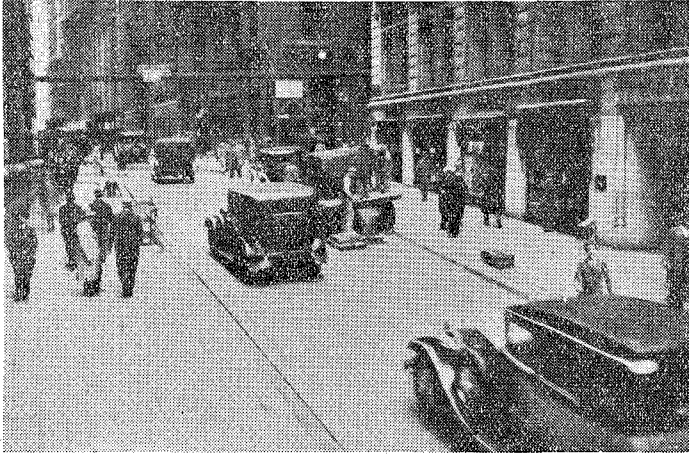
紐育の第一夜をベンホテルに明した吾等は亞米利加の宿屋に御奉公するでもあるまいと早速二日の朝から下宿探し

に出かけて沼田君（鐵道技師）の深切な案内で早速ハドソン河畔の上町に然るべき下宿をみつけておりよく藤田と二人同じ宿に入る。

この主婦は六十ガラムの英國生れの割合に上品な先生で、あまりヤンキー臭からず外から歸れば時々會話の相手

になつてくれるので便利だ、自分の息も土木技師でテキサ

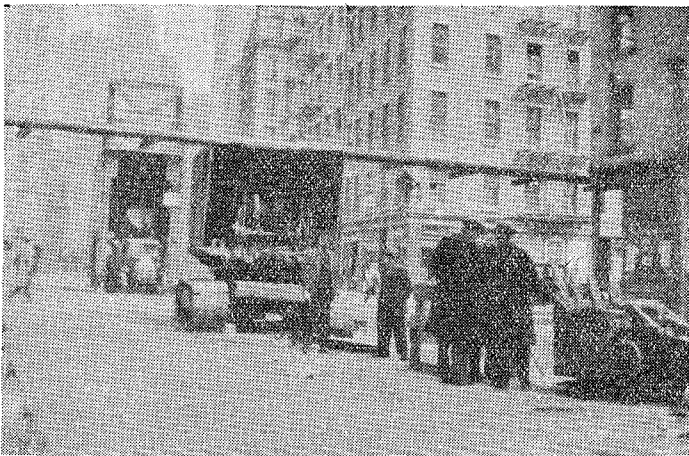
第 四 十 四 圖



サード、サブウエー工事中の假設木造路面（歩車道の
区分の處に瓦斯管を露出布設せるを見る）

「私は紐育が一等好きだ——世界一の都だもの——然し息

第 四 十 五 圖



同上

前面にあるはホータブルミキサー、後方に見ゆる櫓
はコンクリートを隧道内に送る爲のエレベーターシ
ャフト

スに行つてると云ふ、ナゼ息子の處へ行かないかと問へば

子は紐育では存在を認められないがテキサスへ行けば相當

にして居ますよ」と言つてゐる。早速世界一 (W. O. Langford)

をあげ
せられ
る。

○「サ

ード・

サブウ

エー」

三日

に市の

交通局

を訪ふ

てその

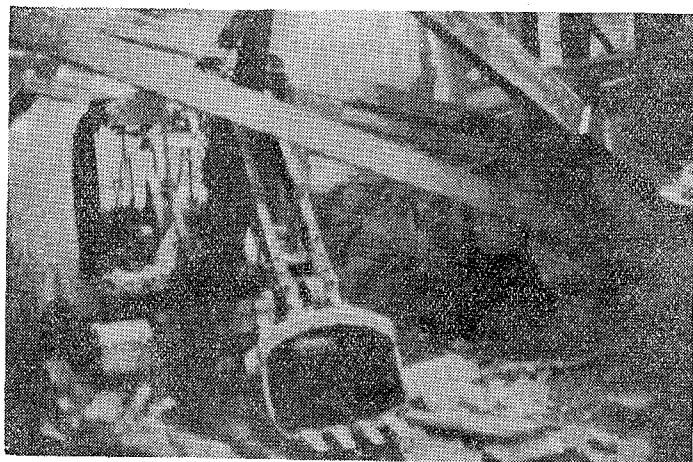
案内で

四日に

工事中

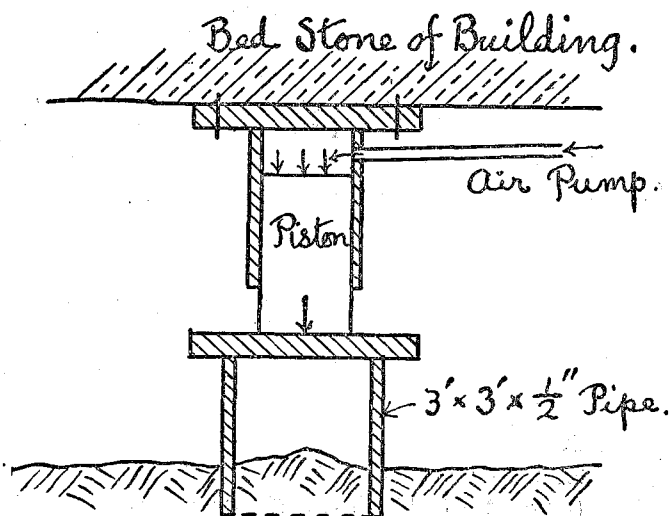
のサード・サブウエーを見せてもらふ約束をする。

第四十六圖



隧道内のスチームシヨベル

第四十七圖



サード・サブウエーは市役所前からブロード・ストリート

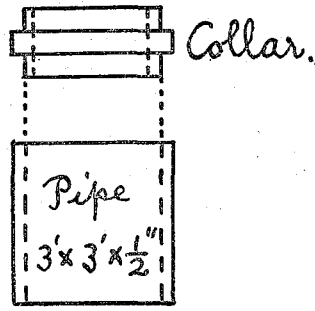
トを経てイースト河底で已設のフォース・アベニュー・サ

ブウエーに連絡するもので地表面下六十呎乃至七十五呎を上下二層の複線電車を通ずる大隧道工事で延長約一哩に對し總工費一億三千萬弗、一昨年起工以來五ヶ年繼續事業で一九三一年一月に竣工の豫定と言ふ、見渡す處地表下三十呎位はフラインシルトにてその以下は岩盤なり、河岸に近い處から掘り下けて開渠式より隧道式になつて居るが

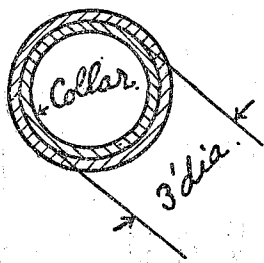
交通頻繁な街路の直下を掘る爲に開渠式の上覆を木橋の如くやつてる處は東京の地下鐵道工事に見るのと大差は無いが適々數十階の建物の下をくゞつてその支保をする爲に多大の苦心の拂はれてる事を最も興味深く見たから少し説明を加へて置かふ。

隧道内はせまくるしい支保材の間を縫ふてスチームシヨベルが活いて居る、導坑の一部にはエヤーポンプや大型のモーターが活動して居るのを見る。此のエヤーポンプはモ

第四十八圖



ータードリブンにて八十噸の壓力を與へるべくピストンを押す、建物の基礎混凝土の下端を一立坪斗り掘鑿してその混凝土の背面にピストンを逆にとりつける、ピストンの下端には徑三呎高三呎厚二分の一吋位の圓筒を据えてピストンの活きによつて此の圓筒を押し下けること四十七圖の如くし更に四十八圖に示

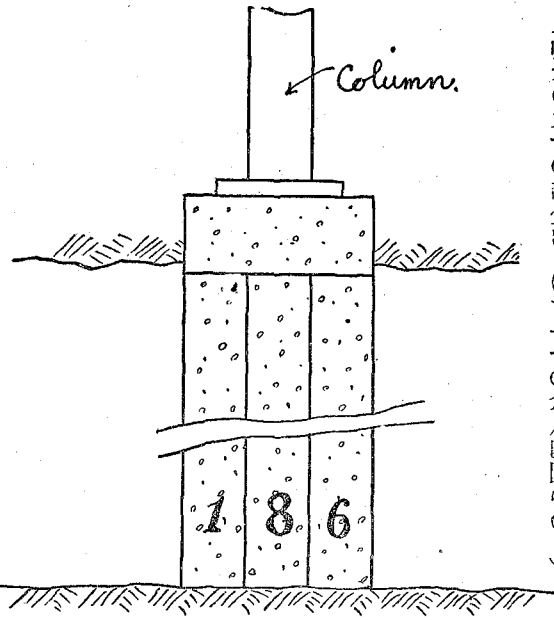


す如きカラーをはめて次のパイプを繼足して漸次押下けて遂に岩盤に達せしめたる後パイプの中の土砂を除き中は混凝土をつめてベツ

ドストーンとの間は楔でとめる。(四十八圖参照) 斯くて徑三尺のソリッドコラムを完成すれば次は相當の間隔を置いて第二、第三のコラムを造るのである、つまり數十階の大建築物も幾本かの徑三尺の柱で支へられて隧道工事中の支柱となる譯である。

次は適々上層を通過する高架鐵道の支柱の基礎下を支へる方法としては先づ六呎角のベッドストーンは四十九圖の如く二呎角の九つの部分に、けて一つの角（即圖中の1）

第四十九圖



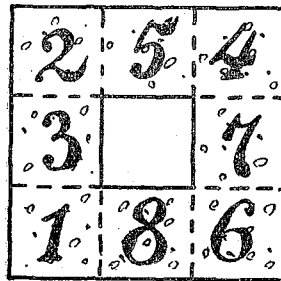
の處を堀下けて $3' \times 3' \times 12'$ 位のコンクリートコラムを挿入する。次に2、3、4、5、の如く順次周圍にコンクリートコラムを挿入して五十圖の如き六呎角に二呎角ホローの

コンクリートコラムにて完全に支保する事となる。

○食ばんと高架論

紐育では日本料理は可なり贅澤なものが食へる、その會食の席上で誰かの話しに「日本の食ばんはともまづくて食へない」と言ふ、此の人は何年前に日本を去つたか知らないがたしかに神戸のオリエンタルホテルあたりでデイナーに使ふパンを食つた事が無い人にちがひ無い、私はアメリカのパンが特別にうまいとは思はないのだがと考へ乍らフトこんな事を考へる……所謂洋行歸りが一にも歐米二にも歐米と心酔論をふりまはすがその人は果して日本出來のパンの味を知つてるか……どこかの町では高架と地下との優劣論が頗るやかましいようだが、もしや、米國あたりで紐育やシカゴの高架鐵道を見て之をその地下鐵道と比べて直感的に高架

第五十圖

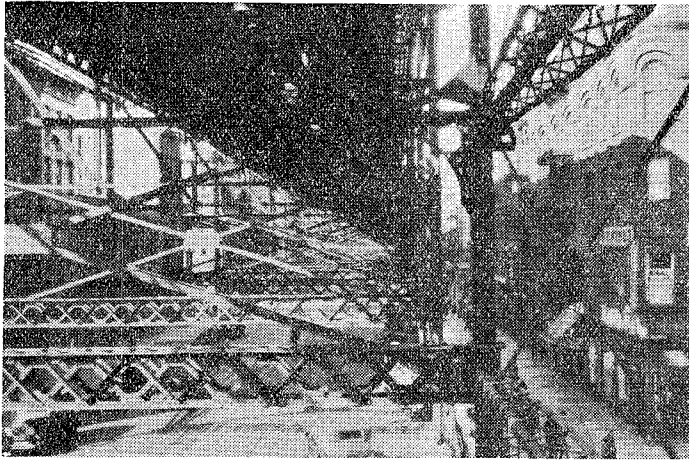


を考へる……所謂洋行歸りが一にも歐米二にも歐米と心酔論をふりまはすがその人は果して日本出來のパンの味を知つてるか……どこかの町では高架と地下との優劣論が頗るやかましいようだが、もしや、米國あたりで紐育やシカゴの高架鐵道を見て之をその地下鐵道と比べて直感的に高架

はだめだと決論をしてる人がありはしないか……パンの味を即決したように……

私の調べた處によると紐育の高架鐵道の始りは一八六八年八月で今から六十年前である、今現存してゐるのがその頃以來のもので日本で岡蒸汽が東京横濱間に始めて開通した頃のものである、此の六十年前の遺物は遺憾無く現代には餘りに不適當である。凡てが鐵骨構造で然も細くて高くて床上には舊式の六十封度位のレールが敷いてある、走る車は舊いガタ／＼の輕い車でのろいスピードでガタ／＼やつて行く、とてもやかましい外にとりえが無い、ダカラ一分を爭ふ紐育兒が乗らない筈である。之れに比べると地下鐵道は

第十 五 第



紐育高架鐵道の鐵骨（中段より撮影）

スピードはトテモ速い、争つて乗りたがるのに無理は無いのである。ダカラ高架は駄目か？否、斷じてそうではない。紐育の郊外にも費府にもその他の都市にも高架は地下の如く盛に建設せられて行く、悉く鐵筋混凝土スラブである。音も立てず、體裁も悪からず、スピードも自由である、然もオープンエヤーで見晴し乍ら走る時の面白さは格別である。

紐育の中心の如く地上數十階の建築物が櫛比してゐる處では高架を乗入れる事には無理が多い

ほい、生温い空気がとても不愉快千萬なものである、況

合の外出来得る限り避くべきものであると考るのである。

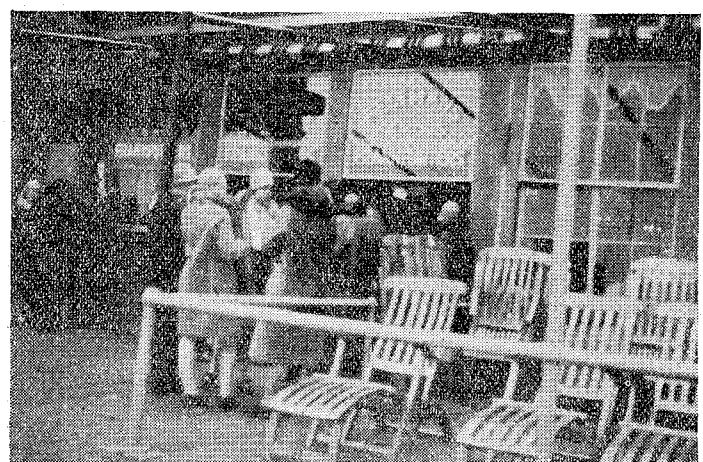
んや衛 生學的 に近時 一大問 題とな つて居 るので は無い か。私 は 育紐の 地下と 高梁と 舊いの と新し

第二十 五 第 圖



コネーアイランドの海岸棧橋

第三十 五 第 圖



Hot Dog 立喰いのヤンキーガール

私の 食パン が和製 か舶來 か興味 ある問 題とし て世の 批評を 聞いて 見たい ○コネ ーアイ ランド コネ

いのと共に體驗してからの結論は地下は止むを得ざる場

ーアイランドは紐育に程近き大西洋岸の避暑地——むしろ

歡樂場としてヤンキー共の好んで行く處、大方米國を通つ

人公は日本人某、もう來てから二十五年にもなりますとて

た程の旅行者の一度は行つて見る處なり。海岸十數哩に亘つて遊歩

棧橋がしつらへられ賣店や興行店

が軒を並べて大供子供を呼びよせて

る様は淺草が大森に引越したか

千日前が濱寺に出來たかと思はせる

俗臭粉々ヤンキーそのものを見る

が如しで上品な紳士はコネーア

イランドへ行つて來たとは言ひかね

る程度のもの乍ら濱の海氣浴や

海水浴にも亦棧橋通やあやしげな

興行物などにも嬉々として子供の

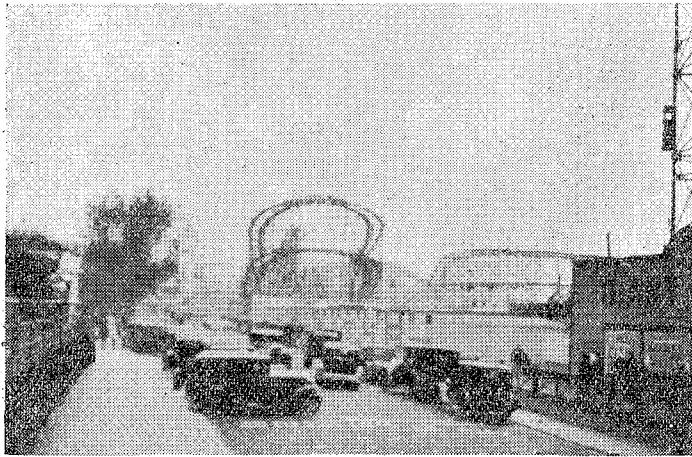
ようになつて——九十パーセント

迄はペヤードで遊び戯れてる様は全

く面白そうである。スベニヤース

ブリンでも求めようかとふと一軒の賣店に入るとこゝの主

りに行く、アキタニアは歐洲戰後獨逸から分捕つたもの、



場 興 行 場 見 たら 棧 橋

なつかしげに話しかけられて二十三分も話してる間にその土産物式のスブリン、貝細工、彫刻、首飾の類が大方メイドインジャパンなのには一寸驚く、此處の名物ホットドッグ（長三四寸の變な形の腸詰）にカラシをつけてあられも無いお姫様達がかちつてる恰好は日本では見られない圖だ。

○アキタニア號

八日の夜中——恰度零時にハドソン河港五十七番ピヤードからキューナードラインのアキタニアで木原君が渡英するので見送

一つで世界的には第五位、四萬六千噸吃水四十九呎七吋、最高二十六七哩を走る快速船で英國のものである、何でも大西洋航路の最速のレコードを造る爲何日目に到着したと言ふ爲には夜半の出帆が都合がいゝといふ、お客様こそ迷惑千萬、さすがにトツプハットにタキシードといふ亞米利加では芝居でもなければメツタに見られぬような恰好の紳士も見送りの爲に幾組か来る、木原の室を丁寧に教へてくれたボーターにチツプを渡すとサンキュー、サーと來るとても上品でいゝ、是れがヤンキーならサンキューのサンまで約して咽頭でキューと云ふ位が落ちだ、米國がやほくさく思はれてトモたまらなく歐羅巴が見たくなるのをあきらめて分れをつけて歸る。こんな時には出發に際して歐羅巴へ廻る爲にもう一ヶ月だけ期限の延長を願つた時に親父から「行けない人の事も考へろ」とやツツけられて引下つた自分がうらめしくもなる。

○亞米利加の禁酒

禁酒國の亞米利加では藤田や田邊はさぞ困るだらふと大

方の少からぬ同情をあびて來たものだが決してそんなものじや無い、吾等の聞いた米國の禁酒法では酒の輸入と醸造と運搬とを禁じて居るそうである、だからあり合せた酒をのむ事はチツトもかまはないと見えて到る處のレストランでいくらでも飲める、獨系米人の經營してゐるブラウハウスとか言つた店で賑な街に面してギタアやピアノに浮かれつゝビールの滿を曳くなぞの出來事は夢では無かつたか——夢かも知れぬ。

○チープ・エンヂョイメント

亞米利加ではたしかに道路は良い、都會から郊外へと幾條かのドライヴウエーが完成されて居て五十哩や百哩のドライブは何でも無い、だから都會から百哩位迄はその都會の郊外と言へよう、現に私の知り合いになつた同胞の一人は紐育郊外百哩許の處に居て用があれば宿の娘さんがいつでも紐育までドライブして呉れるし、家中の人も屢々紐育へ買物に出かけるといふ、そしてこれこそチープ、エンヂョイメントだと言つてゐる、一ガロン十七八仙のガソリンを

買へば二三十哩は譚無く飛ぶ、道はいゝし塵は立たずそれ
の免狀を取つたそうである。

こそ坦々砥の如き路上のドライブ
こそ愉快そのものでありチープエ
ンヂヨイメントとは甘く言つたも
のである。従て米人ほどドライブ
を好むものもあるまい、土曜や日
曜には郊外へ郊外へとドライブす
るものゝ縦列が引きりなしにつゞ
く辻々には交通巡査がゴー、スト
ップをやつて整理にいそがしい。

一日、鐵道技師神津君の案内で
君の車でモントクレヤーの郊外を
ドライブした事がある。

モントクレヤーは紐育からは汽
車で三十分程、氣のきいた美しい
住宅街で人口四萬位、神津君は此

處に下宿して居る間に一寸一週間許り練習して譚無く運轉

圖 五 十 五 第



モントクレヤーの住宅街（並木敷の右方が車道）

モントクレヤーから五十哩位
の處にレッキ、ホボトケンとい
ふのがある、閑寂な山中の湖水
で避暑の頃には大に賑ふそうだ
が五月の中句とて晩春初夏の日
ざしはいかにも和らかで、まだ
一軒の喫茶店がやつと店をあけ
た斗り、それでも幾組かの家族
的團樂をそこゝに見受る。

此の道の大部分は八號國道で
其幅員は一半は四車線、其他は
三車線で三車線の處では一車線
分がシオルダーとして残されて
あるのを見受る、構造は混凝土
基礎の上にアスファルトコンク

人家連櫓の處の外はサイドガッターも何もない舗装の敷き

これも且念にアスファルトの類で補修してある、實によく

放して至極簡單である、雨が少いからこんな事ですんできると考られる、苟もオート・ロードと名のあ

行き届いてるのには感心させられる、我が國でも見習ふべき事の一つだ。

○道路雜題

るものは二車線よりも狭いものは見當らず慨して市街地近くはアスファルト舗装で郊外地には混凝土

市の土木局に技師長ビンクネーを訪い氏の紹介で各方面のエンジニアと一問一答を試る。

が多く見受られる、郊外をドライブして奇妙に思ふ事は自動車以外には殆ど何者も通らぬ事である、

紐育市の道路は總て市長の管理なることは諸大都市と共に我邦と國様である、軌道敷及軌條

區別も何もしてない、そして郊外の制限速力が四十哩で實際は五六

第五十六圖

第八號國道(混凝土四車線)

十哩飛ばしても危けな點は少しも無い。

めて維持する事や、路面舗装修繕の費用を前納せしめるとか、

至る處の混凝土舗装にコンストラクション、ジョイントのクラックは見出されるがどれも



もし會社が充分補修せぬときは市が代執行する権限を持つ事な

ど迄どちらが眞似をしたものか彼我よく似類つて居る。

經常費

(路面

補修を

含む)

は約二

百五十

萬弗一

哩當

り五萬

弗見當

我一

が里

當りの

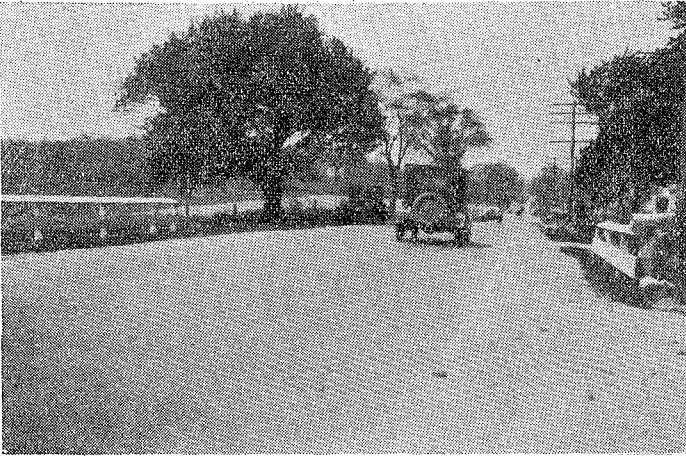
二十五

萬圓は

可なり美しい程潤澤ではある。

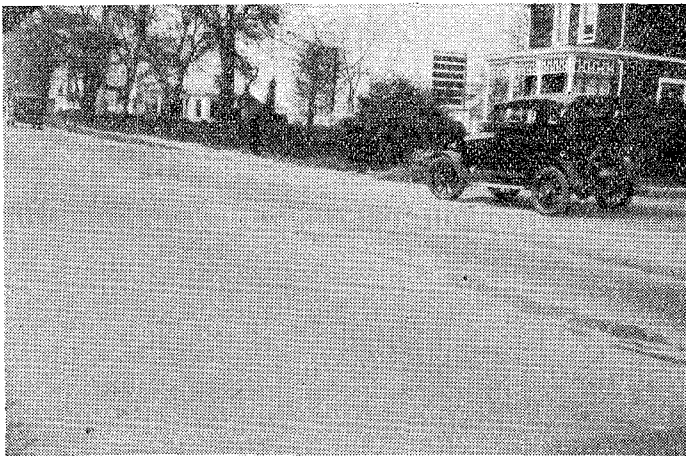
マンハッタン(紐育の中樞)に四八六哩の市道があり

第五十七圖



町村道(二車線の外に半車線分のショルダーを設す)

第五十八圖



混凝土路面のコンストラクシヨン・ジョイントの龜裂を丁寧に補修せる状況

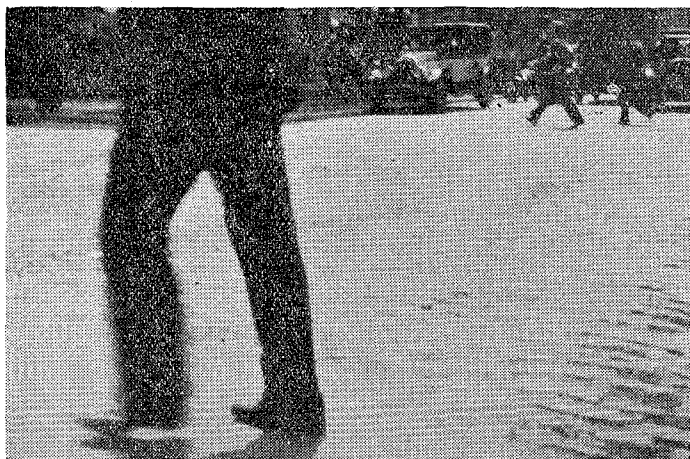
亞米利加の著名な橋は多くは皆賃取橋である、それも自

自動車税を目標にして居るもので一車二十五仙から一弗位を

とる、随分いゝ収入をあけるが橋の保持費と元資償還の資

ふ事である。

第五十九圖



紐育市中心部で見た悪路、石塊鋪裝の古びたもの、吾等は意を強ふして可なり？

源に充當され多くは二十年を目標として元資償却すると云

第六十圖



道路掃除夫と手車

紐育の街路は一九一九年以來構造標準を二階級に定めた、總てが自動車本位で近頃十噸位の貨

物自動車動いて居るすばらしく大きい。

第 六 十 一 圖

道
信



石塊舗装をアスファルトコンクリートに改造中、シジクス、アベニュー所見

一
等
道
路

基礎
アスファルト
コンクリート厚

三 九
吋 吋

第 六 十 二 圖

一
二



「求人」のビラに集る失業者の群
ブロードウエー所見

一
二
等
道
路

基礎
アスファルト
コンクリート厚

二 六
吋 吋

路面舗装の内最もよく行はれてるのはビチューメンを取扱つたものと混凝土とであつて重量貨物の多く動く下町ではグラニットブロックも可なり廣く用ゐられて居る、舗装工事は殆ど全く請負工事であつて石塊舗装には一年、アスファルト舗装には五年の保険期限が附してある、石塊舗装に一年の保険期限は短いのだがそれほど石塊舗装はいたみ易い事が是認されてゐるのだ。

紐育のような大都市に路面掃除の爲のオートスキーパーを見受けないで労働者が毎朝手車で紙屑などを掃除して歩いてゐるのを見るのはむしろ一奇觀である、是れは労働者組合の勢力が強くて、もしも器械力を以てする掃除車などを輸入すれば忽ち労働組合が承知しない(失業を恐れる結果)とは益々あきれる。

紐育の町だからとて美しい路面斗りでは無い、五十九圖のような實例は市街の中心部でもちよいと見當る、けれども一方盛に改良工事をやつて居る是等の舗装改良費は年々二百五十萬弗宛數年來引續き計上されてゐるさうである。

蝮蛇物語

近時鐵道や軌道の經營者が、自動車營業者に對する一策として計畫した妙案? を披露すると、軌道經營者は軌條間及其の左右二尺の道路面維持の義務を負担せしめられ、日夜が義務を履行してゐるのに、其の上を商賣敵の乗合自動車がつて路面を壞す、之を亦軌道經營者が補修せなければならぬ、是程馬鹿げたことは無い、から道路管理者は自動車業者から道路損傷負擔金を徴收して、夫れを軌道經營者に補助せよと言ふ案。

成る程、一寸聞けば理屈があるやうだが、一體軌道は本來自動車の通るべき管の道路に借家してゐるやうなもので、而かも夫れが一文の借家賃も出してゐない、借家賃の代りに道路の維持修繕を命ぜられてゐるのだ、此案を考へ出す前に自分の負擔に屬する占用料を納め、夫れから補助金を貰ふことを考ふべきだ、借家賃を支拂はずに補助金を呉れと言ふ、蝮蛇とは是れを言ふもの(路政會)